

ヒバクシャ国際署名2019年スタート集会

核兵器の終わりか、それとも私たちの終わりか。ヒバクシャ国際署名を大きく広げよう

核兵器保有国は未だ高性能で使い勝手のよい核兵器開発や運搬手段の開発、核兵器を背景とする恫喝外交を続けており、核の脅威は深刻化しています。

しかし、核兵器の廃止を願う世界の声は、核兵器禁止条約の122か国の賛成による採択につながり、条約の発効が待ち望まれています。昨年12月の国連総会本会議では、各国に早期の署名、批准を求める決議案が126か国の賛成多数で採択されました。

また、米国の首都ワシントン特別区議会は今年3月5日、核戦争の危険を防ぎ、核兵器廃絶を連邦政府・議会に求める決議を全会一致で採択しました。

決議では、①核兵器を禁ずる条約を受け入れ、核兵器廃絶を国家安全保障政策の中心に据える、②核兵器の先制使用政策を放棄し、核攻撃を開始する大統領の権限を終了させる、③他の核保有国との間で核兵器廃絶にむけた検証可能な合意を追求する一ことを連邦議会と大統領に求めています。

世界は確実に非人道的大量破壊兵器である核兵器の廃絶に向かっています。何よりもヒバクシャの皆さまの存在と訴え、そして世界に広がるヒバクシャ国際署名がその源です。今年も、このヒバクシャ国際署名を、対話を通じて大きく広げていこうと、スタート集会を持ちました。

「あたり前にくらしている平和は、世界中の人類みんなで維持していかななくてはいけない。一人ひとりが自分の言葉でとなりの人に伝え考えていく、行動していこう。」



- 開催日／2019年4月22日(月) 14:00～16:00
- 会 場／ワークピア横浜
- 主催者／ヒバクシャ国際署名生協推進委員会(當具伸一委員長)
- 参加者／28団体、109名
- 神奈川県原爆被災者の活動支援募金／17,553円
- 次 第／

司 会：山岸 洋一 川崎医療生協
 開会挨拶：當具 伸一 ヒバクシャ国際署名生協推進委員会委員長
 ヒバクシャ国際署名お渡し式

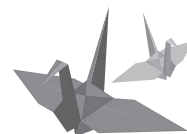
ヒバクシャ国際署名生協推進委員会委員長から
 (公社)ガールスカウト神奈川連盟 荒井 紀美子連盟長から

ご 挨拶：丸山 進 神奈川県原爆被災者の会会長

基調講演：「核兵器廃絶に向けた情勢と展望」
 湯浅 一郎 (特非)ピースデポ共同代表

朗 読 劇：「きのご雲」
 神奈川県原爆被災者の会/ユーコープ/富士フィルム生協/
 神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会

発 言：ヒバクシャ国際署名キャンペーン事務局 鈴木 慧南さん
 まとめと提起：小林 正明 神奈川県生協連専務理事



かながわ省エネ・再エネネット連絡会 2019年度総会

安心で安全なエネルギーの安定供給を受けることは多くの県民の願いです。私たちは東京電力福島第一原発の重大事故以降、原子力エネルギーに頼らない社会の実現を目指し、2012年8月に条例制定連絡会を立ち上げ、神奈川県における省エネルギー・再生可能エネルギーを推進する条例の制定を求める取り組みをすすめました。団体署名1,075筆、個人署名23万筆超と、協同組合の連携した取り組みは2014年4月施行の「神奈川県再生エネルギーの導入等の促進に関する条例」制定の大きな力となりました。

条例制定連絡会の構成団体は、条例制定運動とともに担ってきた関係を大切に、国や「かながわスマートエネルギー計画」の進捗、県内自治体の省エネルギー・再生可能エネルギーの推進に関心を持ち続け、学習会や先進事例研修をはじめとする様々な活動を連携して活動しています。

■ 日 時 / 2019年4月25日(木) 15:00~17:00

■ 会 場 / 新横浜 オルタナティブ生活館 5階 まなびや

■ 参加者 / 8団体 20名

■ 内 容 /

議案：2018年度活動報告/2018年度決算報告/2019年度活動計画(案)/2019年度予算(案)

神奈川県からの報告：

「かながわスマートエネルギー計画進捗」/県内市町村の省エネ・再エネの取り組み

柳田 聡子 神奈川県産業労働局産業部エネルギー課 副課長

質疑と交流



組合員活動委員会がフードバンクかながわを視察見学

フードバンクかながわは、個人や団体・企業から、消費するには十分安全であるにもかかわらず、廃棄されてしまう食料の寄贈を受け、支援を必要としている生活困窮者等に行政・非営利団体を通じて適切に配るフードバンクシステムの確立をめざしています。あわせてこの事業を通じ地域の「たすけあい」「支え合い」「分かち合い」、相互扶助の社会づくりをめざすとともに、社会の食品ロス削減に向けた意識の向上を図り、社会福祉及び資源・環境保全の増進に寄与することを目的に設立されました。

見学では、藤田誠事務局長より設立経緯と仕組みと現状、貧困の現状などの説明を受けたあと、寄贈品の仕分けと米の計量・袋詰めを体験しました。

貴重な交流の機会となりました。



■ 日 時 / 2019年4月19日(金) 10:30~12:00

■ 会 場 / (公社)フードバンクかながわ 横浜市金沢区富岡東2-4-45

■ 参 加 / 12生協18名

■ 対応者 / 藤田誠事務局長、土山雄司事務局次長



神奈川まるごと健康づくり

❀ 健康づくりリーダー養成講座

通算で11回目、196名修了

- 日 時 / 2019年4月25日(日) 12:00~15:00
- 会 場 / 福祉クラブ生協 きらり港北
- 修了者 / 22名(福祉クラブ生協21名、県生協連1名)
- 講 師 / 石田 昌美 神奈川県生協連統括マネージャー



❀ 健康チャレンジ2018のまとめ

昨年10・11月に取り組み、広く呼びかけました。

- 提出数 / 4,487枚
 - 生協別 / 医療生協かながわ：911名、川崎医療生協：375名、神奈川北中央医療生協：645名、神奈川みなみ医療生協：562名、福祉クラブ生協：674名、神奈川県生協連：1,205名と、各生協ともに前年を上回る提出者。
 - 提出者年代 / ①70代、②60代、③50代、④80代、⑤40代、⑥30代、⑦10代以下。
 - 男女比 / 女性：72.6%、男性：24.3%、他は未記入
 - 選択項目 / ①イキイキ快汗、②お口の健康、③マイチャレンジ、④バランスのよい食事、⑤誰かとおしゃべり、⑥規則正しい生活、⑦ぐっすり睡眠、⑧ホットひと息、⑨ほどほど飲酒、⑩禁煙に取り組む
- 提出者の皆さまへは「ピロピロ3033エクササイズ」(腹式呼吸エクササイズ)グッズを進呈
- 健康チャレンジ2 / チャレンジシート提出者対象企画
ピロピロ3033エクササイズ(腹式呼吸エクササイズ)
[ピロピロを1日30回、週に3日以上、3か月以上]
配 布：1月～
取り組み期間：2月～6月
提出締切：7月末



すべての働く仲間の連帯で、格差をなくし、平和を守り、笑顔あふれる未来をつくろう!

第90回かながわ中央メーデー

メーデーは、古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきましたが、始まりは1886年の5月1日、アメリカのシカゴで、1日12~14時間勤務が当たり前だった労働環境の改善を求めて労働者がゼネラルストライキ(全国的な規模で行われる労働争議)を起こし、8時間労働の実現を要求したことに由来します。

会場では県労協・横浜労福協による「タオル1本運動」、かながわ勤労者ボランティアネットワークによる「フードドライブ」も行われ、多くの参加者が家庭や労組からお持ち寄り頂きました。

- 日 時 / 2019年4月27日(土) 10:00~12:30
- 会 場 / 新横浜 オルタナティブ生活館 5階 まなびや
- 主 催 / 第90回かながわ中央メーデー実行委員会
- 呼び掛け団体 / 連合神奈川/横浜地域連合
- 特別協賛団体 / 神奈川県/横浜市
- 後援団体 / 川崎市/相模原市/横浜労福協
- 協賛団体 / 神奈川県労協、中央労金神奈川県本部、全労済神奈川、ワークピア横浜、労働者福祉協会、いこいの村あしがら、労働文化センター、エル・ピー・エー、労働文化事業団、神奈川県生協連



神奈川県消費者団体連絡会

2019年全体会記念講演

神奈川県消団連(11団体)は2019年度全体会の開催にあたり、『カジノ解禁の持つ問題点』を演題に松岡泰樹弁護士を講師に記念講演を行いました。

松岡泰樹弁護士からは、特定複合観光施設に関する法律(カジノ解禁推進法)等の経緯、カジノ実施法の内容、カジノ実施法の問題点について、説明を受け、問題点として、①全体像が不明確、②「規制」が「世界最高水準といえるのか」、③特定資金貸付業務の採用の問題、④ギャンブル依存症患者増大のおそれ、⑤反社会的勢力の排除が困難であること、⑥マネーロンダリングの危険、⑦刑法で賭博を違法としている趣旨との整合性等を学び、改めて「カジノは要らない」、「カジノで地域経済振興させようとする考え方は間違い」であることを確認しました。

今回の学習を踏まえて、「人の不幸は地域社会の活性化につながりません。横浜にカジノは要りません」とする意見書を出しました。

終了後、全体会では全ての議案が承認されました。

- 日 時 / 2019年5月9日(木) 13:00~14:35
- 会 場 / 神奈川県生協連会議室
- 主 催 / 神奈川県消費者団体連絡会
- 記念講演 / 「カジノ解禁の持つ問題点」
- 講 師 / 松岡 泰樹 弁護士
- 参加者 / 10 団体 19 名



神奈川県原爆被災者の会

第54回 2019年度総会を開催しました

今から63年前、1956年8月10日、長崎に被爆者が集い、「日本原水爆被害者団体協議会」を結成、「私たちは被爆者自身を救うと共に、全人類を救うために立ち上がる」と世界へ被爆者の挨拶を送りました。神奈川ではそれより早く1955年に広島で開催された「第1回原水爆禁止世界大会」に参加した被爆者が集い、その年の秋に「神奈川友の会」を発足させ活動を始めています。その後苦難続きの10年を経て、1966年1月23日に「神奈川県原爆被災者の会」として活動を始め、日本被団協と共に「核兵器の全面廃絶と被爆者救済・原爆被害への国家補償を求めて」活動を続けておられます。

神奈川の生協は、これまでそしてこれからも原爆被災者の会の皆さまと一緒に、核兵器のない世界の実現のために力を尽くしていきます。

- 日 時 / 2019年4月23日(火) 13:30~
- 会 場 / 神奈川公会堂 横浜市神奈川区富家町1-3
- 次第 /
- 司会：木本 征男 副会長
- 開会：網崎 万喜男 副会長
- 黙 禱
- 議長団選出、書記指名
- 会長挨拶：丸山 進 会長
- 来賓挨拶：
- 當 貝 伸一 神奈川県生協連会長理事
- 片 野 憲二 原水爆禁止神奈川県協議会理事長
- 酒 井 孝一 神奈川平和運動センター 事務局次長
- 閉会挨拶：和田 征子 副会長

公告 神奈川県生活協同組合連合会第68回通常総会

1. 総会日時 2019年6月25日(火) 10:00~12:00
2. 開催場所 一般社団法人 神奈川県労働福祉センターワークピア横浜 2階 くじゃく 横浜市中区山下町24-1 電話045-664-5252
3. 議案
 - 第1号議案 2018年度事業活動報告承認の件
監査報告
 - 第2号議案 2019年度活動方針及び収支予算(案)承認の件
 - 第3号議案 2019年度役員報酬承認の件
 - 第4号議案 2019年度役員選任承認の件

以上、第68回通常総会の開催を公告いたします。

2019年3月19日

神奈川県生活協同組合連合会
代表理事会長 當貝 伸一

お知らせ

神奈川エリア大学習会



コドクはドクよ!

~取り残さない、みんな一緒に~

◇日時：5月30日(木)
13:30~16:30

◇会場：フォーラム(男女共同参画
センター横浜)